

F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：居場所作りを始めたなら



2020年シェアカフェ長後食堂で「みんなの居場所 長後れいんぼ〜かふえ」を新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下で休校中の中高生や、育児中の方の居場所としてオープンしました。

現在毎月第4日曜日は、長後食堂「みんなの居場所」を、毎月第2月曜日は、宮原コミュニティかわせみで子育てひろば「御所見スマイルカフェ」を開催しています。（高校生以下無料、お

となは200円以上の寄付でご利用いただけます。）

利用者の人数の制限をしながら開催しておりますが、御所見スマイルカフェでは、毎回50名ほどの方が利用しています。10時から20時まで開催時間の中で、時間帯ごとのプログラムも利用できます。「思春期の子育てに関するおしゃべり会」、「妊婦さんからOKの子育てひろば」、「ボードゲーム&フリースペース」、「みんなの食堂」の4つのプログラムです。

(つづく)



特集：居場所作りを始めたら



みんご食堂の様子

運営は地域でつながった様々な団体と連携して行っています。連携団体は「ボードゲームでツナグ手」、「みんご食堂」です。れいんぼ〜かふえのスタッフだけでは手薄になってしまう部分を専門的に行ってもらい、担当をお願いしている時間帯は、れいんぼ〜かふえのスタッフが個別に参加者のお話を聞く時間にする事で、参加者と丁寧な関係づくりができるようになったそうです。活動が知られるようになり、企業やNPO 法人から物品寄付も届くようになってきました。「相模ハム」の食材、「特定非営利活動法人 アトピッ子地球の子ネットワーク」のアレルギー対応食材などです。

れいんぼ〜かふえ by レインボースマイル湘南は、「子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがない」まちづくりを目指す「子育て世代のおとなの居場所」や「子どもの居場所」の活動だけにとどまらない「まちづくり」の団体です。「れいんぼ〜かふえ」という名前は、虹のようなカラフルな笑顔の咲く場、その人がその人らしく過ごせる「みんなちがってみんな最高」な場にしたいという想いから名付けました。スタートしたそもそものきっかけは、小中学校のPTA 経験から、子育て中のパパママにとって「困りごとを相談する」ことへのハードルの高さを感じ、「手作業をしながら雑談の中で困りごとをこぼせる場」の必要性を感じたことでした。その想いは、現在、藤沢市子ども子育て会議市民委員として関わっている中でより

確信となったそうです。

また、国際比較調査のデータなどでは「日本人の自己肯定感の低さ」が指摘されており、特に10～20代の自己肯定感の低さが目立っています。すべての子どもたちが「自分には価値がある」「自分は人の役に立てる」「自分には生きる力がある」と信じて主体的に行動できるようになることと、そんな子どもたちの力を信じて見守ることのできる社会の実現をめざしたいと思い、行動を起こすことを考え始めました。



活動のなかで一番驚いたことは、何人もの方から「自分も居場所づくりをしてみたい」という相談が来るようになったことです。相談者からは、居場所づくりをしてみたいという気持ちがあっても場所の確保や周りの理解を得ることが難しい、鈴木さんは特別な人だから出来るのだ、というようなことも言われたりするそうですが、何も特別ではないと話を続けます。今後の新しい取り組みは、「居場所づくり」を藤沢市内で広げていくサポートです。子どもたちが「自分には価値がある」と感じて主体的に行動できる場を提供することで自己肯定感を育み、おとな・子どもともに自然な関りの中から困りごとをこぼしてもらえる関係づくりをする居場所づくりを一緒に広げて行ける方を募集しています。興味を少しでも持たれた方は、ぜひ一度お問合せしてみるのはいかがでしょうか。(取材と記事作成：五十嵐)

団体紹介

れいんぼ〜かふえ
byレインボースマイル湘南

設立：2020年10月
理事長：鈴木 理恵
MAIL:rainbow.smile.shonan@gmail.com
ブログ:https://ameblo.jp/rss2525/
FB:https://www.facebook.com/rainbowcafe.
for.everyone



「大丈夫、あなたはひとりじゃないよ。」

れいんぼ〜かふえbyレインボースマイル湘南は、「地域みんな」で「地域の子どもたち」を育てる場を目指しています。ひとりひとりの力は小さくとも、みんなの力とアイデアを合わせたらできることがたくさん増えますよね!

お手伝いできるかも?という方は、お気軽にお問合せ下さい

食材・文房具寄付も大歓迎です



推進センターの2021年度は、Youtube講座や20周年記念サイト内の団体動画作成講座など、市民活動団体の動画作成支援に力を入れてきました。

いずれの場合にも30秒～1分半の紹介動画を念頭に置いており、長尺のものは想定していませんでした。その理由としては動画マーケティングの前提や、近年の動画事情があります。

How Long Should Your Next Video Be?

2016年と少し古い記事になりますが、動画マーケティングに関して頻りに引用される記事として、米国の動画マーケティング企業wista社の「How Long Should Your Next Video Be?」があります。要約すると、動画共有サイトなどでは視聴前に動画の長さを確認できるため、2分以下の動画の方が見られる可能性が高いということが記載されてい

ます。実際の行動に反映してもらうなど、目的によってはある程度長い方が有効ということも記載されていますが、こと紹介動画、PR動画に関しては短い方が有利であるという理解ができます。

近年のSNS上の動画事情

紹介動画の掲載先によっても、推奨される長さが変わります。動画共有サイトでは2分まで見てもらえても、短文や画像の合間に埋もれがちなSNSでは、より短くしたほうが広く見られるかもしれません。TikTokの流行を受け、InstagramやYoutubeにもショートムービー機能が作られました。団体の主として使う広報手段に合わせて長さを考えるのも一つの方法ですが、いくつかのSNS等に後々掲載出来ることを考えると、60秒未満の動画は非常に使いまわしが効きます。

当記事はあくまで、紹介動画・PR動画に絞って取り扱っています。ただ、イベントのようなものは、全体の動画とプログラムごとの動画に分けることもできます。何かの手順解説であれば、繰り返しの内容や、手順と手順の間はカットできます。ほぼ同じ内容の動画であれば、「短い方が見られる」ということを念頭に置くことで寄付募集やボランティア募集に効果的な動画にできるかもしれません。(せ)



How Long Should Your Next Video Be?

<https://wista.com/learn/marketing/optimal-video-length>



なぜなに

NPO

vol.155



プロダクトマネージャー (PdM) のオシゴト

2020年の春から新型コロナの感染が拡大ははじめ、緊急支援を除き、現場の活動の縮小傾向が続いていました。その中での活動相談の傾向として、役員や事務局の役割と活動現場の動きの関係といった、組織内の人的マネジメントの相談が増えてきています。

NPO(市民活動組織)は市民や住民を含む地域や社会の課題や問題を解決に向かうための活動を実施する組織です。解決すべき課題を見つけた人がその課題の解決に知恵と能力と財力と時間を費やすことができる場合は、即座に始めることができますし、早く解決するでしょう。しかしながら、そんなスーパーマンのような市民は、数多く存在しません。となると、個人的ではなく、役割を分担して複数の市民が持てる力を出し合ってグループとなり、解決に向かうことになる。それがNPOです。

今回取り上げた「プロダクトマネージャー(以下、PdM)」は、プロダクトのマネジメントをする方です。聞きなじみのあるプロジェクトマネージャー(以下、PM)とは違います。プロダクトとは、受益者の利益を考え提供する製品やサービスのことで、その価値を高める視点でかかわる人をPdMと言います。PMは品質・コスト・スケジュールなどに視点をあて、かかわっていきます。この2つはプロダクトを世に発信

するうえでどちらもとても重要なポジションなのですが、まったく別の役割を持っています。

企画を考えるときに5W1Hを意識している方も多いと思いますが、主に「What(何を)」「Why(なぜ)」の視点は、PdMが、「When(いつまでに)」「How(どうやって)」は、PMのお仕事になります。しかしながら、同じ人が両方の役割を担うことも多く、企業においても兼務している例が多くみられます。

NPOでは、理事監事などの役員が、PdMで事務局がPMという役割分担をしている場合が多いようです。役員の人事をどのようにするのかといった手法を考える前に、役員には何をしてもらいたいのか、事務局は何をしなければならぬのかをまず整理していくことが大切です。いずれにしても、直接受益者と交わっている現場がスムーズに展開していくための下支えの役どころを理解されていることが重要です。また、理事もスタッフとしてしっかりとサービスの提供者になっている場合は、理事として、スタッフとして役割の違いを認識してた上で行動ができる方をお願いできると悩みがひとつ解決しますね。(て)

講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■IT サポート講座「ステップアップ!ワード講座」	5月23日(月)・30日(月)	13:30~15:30
■プラザ de カフェ「ハーブで楽しくハート♡リース」	5月27日(月)	13:30~15:00
■「Instagram,TwitterファンづくりSNS講座」	6月5日(日)・12日(日)	13:30~15:30

NEW!

支援施設からのお知らせ

■IT サポート講座「ステップアップ!ワード講座」

2回の連続講座です。ルーラー、タブ、段落を用いた文字列のキレイな配置や、イラスト、図形、表などを用いた文書作成、レイアウト方法が学べます。チラシ作成に携わる方におすすめの講座です。

日時：2022年5月23日・30日(いずれも月) 13:30~15:30

会場：市民活動推進センター 会議室 A

料金：2回で2500円(資料代含む)

内容：1回目：ワード初級、2回目：ワード中級

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員：10名 ※先着順・貸出PC5台まで

問合・申込：市民活動推進センター

※貸出PCはデスクトップPC等でお持ち運びが難しい方が対象です。原則、ご自身のPCを用いてのご受講をお願いしています。



■プラザ de カフェ「ハーブで楽しくハート♡リース」

身近なハーブで簡単なリースを作ります。自然のもの、家にあるものを活用して生活にハーブを取り入れる知恵を学びます。

日時：2022年5月27日(日) 13:30~15:00

会場：六会公民館 2階 第1談話室

料金：500円

講師：沢崎鉄子氏

対象：ご興味のある方

定員：20名

持ち物：持ち帰り用の袋、家にある細めのリボンなど

お持ちの方は、花ばさみやワイヤー用ペンチ

問合・申込：市民活動プラザむつあい



■NPO マネジメント講座

「Instagram,Twitter ファンづくり SNS 講座」

Twitter、Instagramで広報やファン作りができるということとはどういうことなのか。ボランティア募集、イベントの集客、資金調達のためにフォロワーを増やす方法や、写真がなくてもイラストや文字で想いや考えを伝えるといったチャレンジしやすい広報素材の作り方など基礎から実践まで学べる講座です。

日時：2022年6月5日・12日(いずれも日) 13:30~15:30

会場：市民活動推進センター・オンライン

料金：2回で2000円(学生・18歳以下無料)

内容：Twitter講座、2回目：Instagram講座

講師：鎌倉幸子氏(かまくらさちこ株式会社・Twitter講師)

宮崎愛子氏(葉山まち政策課・Instagram講師)

対象：市民活動を行っている団体や個人、ご興味のある方

定員：30名

問合・申込：市民活動推進センター



■2022年度湘南台地下ギャラリー展示会仮予約受付

2020年度より、湘南台駅にある地下ギャラリーで、市民活動団体の活動紹介展示を実施しています。2022年度の展示団体について、仮予約を開始いたしましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては、市民活動プラザむつあいまでお問い合わせください。



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00~22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢 1031 GRAFARE FUJISAWA 2F

※ビル名が変更になりました

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00~19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野 4-8-1 六会市民センター 2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

URL: http://plaza6i.f-npon.jp/



編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構 (藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪
サポーターも随時募集中です!